

## Member Circular 14/2016

### 各保険年度総括 - 2017 保険年度保険料率算定 - 2016 年 8 月 20 日付、半期報告書

こちらは、英文記事「[Member Circular 14/2016: Review of policy years, premium rating for the 2017 policy year, and half year status report as at 20 August 2016](#)」(2016 年 10 月)の和訳です。

メンバー各位

#### まとめ

Gard P. & I. (Bermuda) Ltd およびその子会社(以下「組合」といいます)の 2016 年第 2 四半期(8 月 20 日)の財務状況は連結ベース<sup>1</sup>において引き続き強固なものとなっております。主要な会計および業績データと Boards of the Associations による決定の概要について、Gard P. & I. (Bermuda) Ltd の運営会社である Lingard Limited の承認のもと、下記のとおりご連絡いたします。

- ・ 2016 年 8 月 20 日現在のグループの連結株主持分は 11 億 1400 万米ドル(2016 年 2 月 20 日は 10 億 1700 万米ドル)となり、共同組合に信頼性と安定性をもたらす結果となった。
- ・ 2013 保険年度はさらなる保険料を徴収せずに終了。
- ・ 2014 保険年度および 2015 保険年度ともに、さらなる後払保険料(Deferred Call)または追加保険料(Supplementary Call)の徴収は予定していない。
- ・ 2017 保険年度の P&I 相互保険と FDD 特約の前払保険料(Advance Call)に対する引き上げ(General Increase)はなし。

#### 各保険年度総括

##### 終了した年度

すべての終了した年度の剰余金の見積もり額は 2016 年 8 月 20 日現在 8 億 2900 万ドルとなりました。これは、2016 年 2 月 20 日比で 500 万ドルの減少です。

##### 終了していない保険年度

未終了の保険年度(2013 年～2016 年)の実績見通しは、2016 年 8 月 20 日現在で 2 億 3700 万ドルです。当該年度の見通しについては、大幅に変動する可能性があります。各年の会社勘定利益には、Gard Marine & Energy Limited から支払われる配当金が含まれています。

##### 2013 保険年度

2014 年 9 月に当初の見積もりの 25%を 10 ポイント下回る 15%の後払保険料の徴収を行いました。当年度は過去 6 カ月より悪化したものの、理事会はさらなる保険料の徴収は行わずに、2013 年保険年度を終了することを決議しました。

##### 2014 保険年度

2015 年 9 月に、当初の見積もりを 10 ポイント下回る 15%の後払保険料の徴収を行いました。保険事業勘定と会社勘定利益は良好であり、さらなる保険料の徴収は行わずに、2017 年 10 月に終了する予定です。

<sup>1</sup> 「連結」という用語は、Assuranceforeningen Gard – gjensidig、Gard P. & I. (Bermuda) Ltd およびその子会社の連結会計を意味します。

## 2015保険年度

2016年9月に、当初の見積りの25%を10ポイント下回る15%の後払保険料の徴収を行いました。2015保険年度の実績見通しは過去6カ月間より改善しています。本年度は、剰余金が生じる形で終了する見込みであり、さらなる保険料の徴収は行わずに、2018年10月に終了する予定です。

## 2016保険年度

2016保険年度の上半期は、2015保険年度上半期と比較して保険金請求金額が減少しました。当年度はこれまでのところ200万米ドル超の新規保険金請求は1件のみでした。それに比べて2014年度の下期には200万米ドル超の新規保険請求が4件ありました。

理事会は2016保険年度の後払保険料について25%から変更がないことを確認しました。2016保険年度については、引き続き25%の後払保険料が徴収されることを予算上見込んでいただきますようお願いいたします。

### 精算保険料 (Release Call)

精算保険料は、該当する未終了の保険年度における該当船舶に対する見積合計保険料に対する比率として計算されます。理事会は、現時点の見積らびに精算保険料の設定に関する慣行に従い、未終了の保険年度の精算保険料について、以下のとおり議決しました。

2014保険年度:	5%
2015保険年度:	5%
2016保険年度:	20%
2017保険年度:	20%

### 2017 保険年度の保険料に関する方針

通常は、予定保険料方式(Mutual premiumの方式)と定額保険料方式(Fixed premiumの方式)のいずれの場合も、保険料率の水準は各メンバーの損害の履歴(ロスレコード[Loss record])と予想保険金請求額(Expected claims)によって決まります。しかしながら、2017保険年度については、現保険年度と同様、すべての保険の保険料を一律に引き上げる方法をとらずに、相互P&I事業の保険料率については、正味合算率(Combined ratio)による保険勘定の目標値をベースとして算定することを決定いたしました。正味合算率は、見込保険料収入に対する当該年度の見込保険金請求額および管理費の割合を表します。

こうしたことから、理事会は、2017保険年度について、P&I及びFDD特約の相互保険の正味合算率を約102.5%として保険料を調整することを決定いたしました。したがって、2017年保険年度については、船主相互P&I保険等の前払保険料について一律の引き上げはなく、相互FDD特約についても一律の引き上げはありません。

### 免責額

理事会は、2017保険年度のP&Iリスクの標準免責額(Standard deductible)は2016保険年度と同じ金額とすることを決定いたしました。

### 2016年8月20日現在の半期報告書

#### 総トン数 (P&I相互保険)

2016年8月20日現在、船主による保険対象の総トン数は2億1960万GTです。このうち、P&I相互保険の総ト

ン数は 2 億 290 万 GT、定額保険料に基づき、国際 P&I グループの外部の再保険に付された移動式海洋掘削装置(Mobile Offshore Unit [MOU])の総トン数は 1670 万 GT となりました。2015 年 2 月 20 日時点の比較数値は、それぞれ 1 億 9330 万 GT および 1810 万 GT でした。

#### 連結会計の主要な数値

総資産は、前年度末の 30 億 1300 万米ドルから 34 億 9300 万米ドルに増加しました。連結ベースの株主持分は、前年度末の 10 億 1700 万米ドルから 11 億 1400 万米ドルに増加しました。

連結ベースでは、2016 年度上半期は 9700 万米ドルの利益を計上しました。全事業分野にわたる保険勘定利益は 1500 万米ドルとなり、これにより正味合算率は 96%となりました。会社勘定利益は、8400 万米ドルとなりました。

上記に関するご質問は、[Bjørnar Andresen](#) (Group Chief Underwriting Officer, Gard AS) が担当となりますが、[Gard Japan](#) までご連絡頂いても結構です。

#### GARD AS



Rolf Thore Roppestad  
CEO (最高経営責任者)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。